

小学校全学年 給食の時間における学習指導案

津市

日 時 平成28年6月17日(金)
場 所 久居地域小学校 各教室
指導者 担当教諭 (T1)

1 題材名 地域で生産されているものをすすんで食べよう

2 題材について(題材設定の理由)

地域で生産したものを地域で消費するという意味をもつ「地産地消」は、安心安全で新鮮なものが食べられる。今日の給食にも、津市産、三重県産のものを使用していることを知らせ、地域でとれる産物を知り、すすんで食べようという意欲につなげたい。

3 本時の指導

(1) 目標

- ・給食には、津市産、三重県産のものが使われていることを知る。
- ・地域の産物を知り、すすんで食べようという意欲を持つ。

(2) 食育の視点

○生産者や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。(感謝の心)

(3) 学習過程(5分)

	学習活動	指導上の留意点	資料等
導入 (1分)	1.今日は、みえ地物一番給食であることを知る。	○毎月第3日曜日の直前の木・金曜日に「地物一番給食の日」が設定されていて、その日は、特に地物の産物を多く使っていることを知らせる。	
展開 (3分)	2.給食の中に入っている、津市産、三重県産の食材を知る。	○今日の献立を紹介し、使われている産物を紹介する。 ・三重県は、水産業が盛んであることを知らせる。	みえ地物一番給食の紹介
まとめ (1分)	3.まとめをする。	○地域で生産したものを地域で消費するという意味をもつ「地産地消」は、安心安全で新鮮なものが食べられることを知らせる。 ・今日の給食にも、津市産、三重県産のものを使用していることを知らせ、地域でとれる産物を知り、すすんで食べようという意欲を持たせたい。	みえの産地マップ(あれば使用する)

(4) 評価

- ・今日の給食に使われている津市産、三重県産を知ることができたか。
- ・地域の産物を知り、すすんで食べようという意欲を持つことができたか。

4 参考

関連する「みえ地物一番給食の日」の献立及び食材の予定産地	
献立名	食材名
さばの塩焼き	さば・・・三重県産
ひじきの炒り煮	伊勢ひじき・・・三重県産
小松菜の磯香あえ	きざみのり・・・三重県産
麦ごはん	米（安濃津ロマン）・・・津市産
牛乳	牛乳（大内山）・・・・・・・・・・三重県産